



神奈川県環境学習リーダー会

会報 No. 54

2006年12月
2007年1月

役員会報告..... 1
平成19年度役員募集 2
NPO 法人格取得に関する
説明会開催 2
第5回地域懇談会開催の案内 3
第13回市民環境活動報告会
開催について..... 3
平成19年度「子ども環境体験
教室」への募集について... 3
第6回親子で楽しむ環境展“出
し物”と“テーマ”募集... 4
実体験型学習の面白さ..... 4

電気自動車を走らせよう! ... 5
部会報告
エネルギー部会..... 5
ケナフ部会 6
大気環境部会 6
水環境部会 7
廃棄物 GO3 部会..... 7
グリーン部会 7
会員の広場
初夢：K・リーダー会の将来
像 8
エコプロダクツ 2006 に参加

して..... 9
エネルギー部会施設見学会
に参加して..... 9
14期新入会員のメッセージ
..... 10
リレー登場
稲わらを考えてみる 11
ソロプチミスト日本財団『環
境貢献賞』受賞の報告... 11
掲示板 12
編集後記..... 12

役員会報告

(事務局長 大森 勝)

1 2月役員会(12月14日)

1. 確認事項
会員数 正会員 180名(新入会員 17名、退会
1名) 賛助会員 7名、特別会員 4名。
合計 191名
2. 付議事項
NPO 関連
設立趣意書案が実行委員会より提案されたが、
特に異議は出なかった。
定款案が提案され内容が審議されたが、合意に
至らない点があり次回役員会で決定することと
なった。
19年度「子ども環境体験教室」
環境科学センターより基本的考え方が示された。
各部会で検討し2月10日までに応募することと
した。
県土整備支援事業
本事業としてK・リーダー会のパンフレットの
リニューアルが認められる事となった。
横浜カーフリーデー
今年度も参加することに決定したが、実施段階
の6月ごろより実行委員会に参加することとした。
県グリーン教育支援事業
平塚市のみずほ小、金目小他1校で実施の見込
みとなった。
第13回市民環境活動報告会
口頭発表6件、ポスターセッション7件の応募
があった。
基調講演1件〔(独)海洋研究開発機構 鈴木
氏〕も決定した。
地域懇談会

2月8日午後 JR橋本駅近くのソレイユさがみで
実施することが決まった。

会報54号企画

原案が了承された。

横浜市共同オフィス

19年度も応募することとした。

3. 報告

大気環境部会報告

独立行政法人・環境再生保全機構より依頼があ
り、同機構予防事業(環境教育)に対するアドバ
イザーとして参画。県立東高根公園等で行う小学
生対象のNOx測定事業に協力することになった。

エネルギー部会報告

東電、キリンビールの施設見学を行い環境関連
の質疑応答を行った。

アジェンダ推進協議会実践行動部会

K・リーダー会として委員として参加すること
になった。

H19年度横浜こども科学館の環境教室

高橋委員よりK・リーダー会として参加しては
どうかとの話があり、数件提案をしていたが、予
算の関係で実施できなくなったとの報告があっ
た。

1月役員会(1月11日)

1. 事項確認

会員数 正会員 179名〔前月から1名退会〕 合
計 190名

2. 付議事項

NPO 関連

設立趣意書：原案に対し特に異議なく承認され
た。

定款案：提案原案通り承認された。

会員への資料発送：会報54号〔2月3日発送〕
と同時にNPO設立関係資料も送付する。

横浜市共同オフィス

1月28日に19年度入居審査〔プレゼンテーション〕が実施される。

横浜こども科学館の環境教室

先月役員会では提案が認められないとの報告であったが、今回提案の内3件（ツバメ・朝顔で環境チェック、写真立て作り、節電コンセント作り）が認められたことが判明した。

夏休み子ども環境体験教室

新規教室提案の要望が環境科学センターよりあり、会報54号で全会員に提案を募る。

締め切りは2月10日。

カタログ作成

2月の市民環境活動報告会に間に合うよう作成を進める。

地域懇談会

2月8日〔木〕13:30～JR橋本駅横サテター6Fソレイユさがみで実施。

相模原市環境情報センターの説明、活動報告（坂本勇夫氏、古澤正文氏）および質疑及び懇談を実施する。

第13回市民環境活動報告会

詳細は決定された。チラシの有効配布、積極勧誘を申し合わせた。

親子で楽しむ環境展

第1回環境展実行委員会を開催（1月11日午前）
実行委員は役員、二村莊司、山本和代氏とする。
人目を引く出品提案を募集する。

横浜信金〔上永谷支店〕

アジェンダパネル展示の要請があり承認されたが、積極的に展示すべきとの意見が出された。

神奈川県地球温暖化防止活動推進員向け基礎講座〔第2回〕

応募者は前回より多いが、さらに勧誘してほしいとの要請があった。

ワークショップのファシリテーターの人選を行った。

横浜市主催150万本植樹運動

児玉会員より提案があり、K・リーダー会としても参加団体として登録する。

グリーン教育支援決定校

平塚市みずほ小、平塚市金目小（グリーン部会担当）、川崎市小田小〔エネルギー部会担当〕が最終的に決定した。

平成19年度役員募集

事務局長 大森 勝

平成19年度役員の立候補（自薦・推薦）を受け付けます。

平成19年度・当会総会を5月12日（土）に開催します（詳細は次号掲載）。この総会で、新役員を選出し、新旧役員の交替をいたします。そこで、前もって皆様からの新役員の立候補または推薦を受け付けます。

NPO 法人格取得に関する 説明会開催

NPO 法人格取得検討委員会 世話役 吉田 榮一

平成18年9月からNPO法人格取得検討委員会が中心になり、検討を進めて、設立趣旨書と定款の素案を作成し、またこの素案について役員会で議論してきました。その結果、それぞれの原案がまとまりましたので、これらについての説明会、意見交換会

K・リーダー会は、更に幅広く活動するため、法人格の取得を検討しています。当会運営には、皆様の英知を結集していただく年になりそうです。是非、自らその担い手として、お手を上げられるよう、または相応しい方の推薦をお願いします。

申し出締め切り 2月14日（水）

連絡先 : 事務局長 大森 勝

〒230-0078 横浜市鶴見区岸谷3-24-16-112

E-mail: omori-m@msh.biglobe.ne.jp

Tel/Fax: 045-584-7907

を下記の通り開催しますので、万障お繰り合わせの上ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、会報54号に同封の関係資料（設立趣旨書、定款、社員および役員について）を当日お持ちくださいますようお願いいたします。

記

開催日時: 平成19年2月17日（土）10:15～11:45

場 所: かながわ県民センター 711号室

第5回地域懇談会開催のご案内

地域活動サポート部 香川 興勝

本会は県下の各地で開催して、開催地域の会員の活動内容の発表や環境学習リーダー会発展のための建設的な意見や要望を話し合うとともに会員相互の親睦を深め、今後の活動に有効にいかして行くことを目的に実施しています。

その5回目の会合を次のように相模原で行います。多数の方々の参加を期待しています。

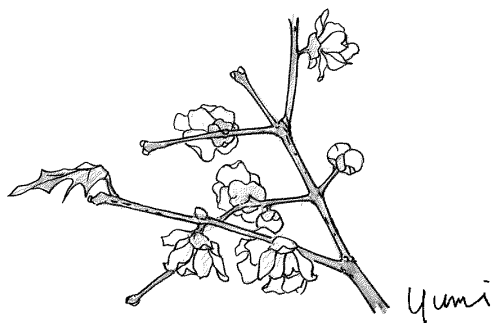
1. 開催日時 平成19年2月8日(木)13時30分～17時30分
2. 開催場所 ソレイユ相模原 (JR 横浜線・橋本駅前 SATY 6階)
3. 内容

第13回市民環境活動報告会の開催について

実行委員長 香川 興勝

県内各地で自主的な環境保全活動、環境改善に取り組んでいる神奈川県環境学習リーダー会、地球温暖化防止活動推進員、かながわカウンセラー協議会や市民の皆さんが、これまでに取り組んできた様々な実践活動を発表します。こうした皆さんの発表を聴き、ともに話し合ってみませんか。

また、基調講演では IPCC (気候変動に関する政



平成19年度「子ども環境体験教室」への募集について

「子ども環境体験教室」担当 吉田 榮一

相模原環境情報センター施設説明 13時30分～14時

環境情報センター・小泉邦正氏
太陽光発電所ネットワーク=PV さがみはら、
「自然エネルギー促進法」推進ネットワーク
14時10分～14時40分

県地球温暖化防止活動推進員
省エネ普及指導員 坂本 勇夫氏
REWOOD 工房の活動状況 14時40分～15時10分

REWOOD クラブ 古澤 正文氏
講師を交えた意見交換会 15時20分～15時50分 参加者全員

4. 懇親会 16時～17時30分



府間パネル)に貢献するため、地球温暖化将来予測および気候変化研究を実施している独立行政法人海洋研究開発機構の若手研究者による「地球温暖化の将来予測～地球温暖化は何を引き起こすか～」と題した講演が行われます。

この機会に地球温暖化に関する認識をより深めていただきたいと思います。

1. 開催日時 平成19年2月18日(日)
10時～16時(開場9時30分)
2. 場所 かながわ県民センター2階ホール
3. 主催 第13回市民環境活動報告会実行委員会

詳しい内容は同封のチラシをご覧ください。

ホームページ

http://members.at.infoseek.co.jp/k_leader/event/houkokukai07.html

でも御覧になれます

報告会終了後に交流会を予定しています。

皆様のご来場をお待ちしています。

神奈川県環境科学センター主催の「子ども環境体験教室」への募集が下記の概要の通りになりました。締切日が近づいておりますので、応募をご希望の部会・グループの方(役員と部長には別途連絡済)は至急検討され、ご連絡をお願いします。また、詳細な教室への基本的な考え方、応募用紙をご希望の

方はご連絡をお願い申し上げます。

1. 教室への基本的な考え(抜粋)

- ・目的: 環境に対する関心の喚起や動機付けを大切に、環境への意識を高める。
子どもの心に残る、体験的要素の大きい教室にする。
- ・対象: 小学生4年生~6年生(保護者付き添い歓迎)
- ・実施時期・時間 夏休み中の半日(4時間~5時間以下)
- ・1教室の定員: 24名(最大28名まで可)
- ・教室内容: 環境への関心の喚起や動機付けを大切に体験的要素の大きい内容
集団で体験可能な内容で、居住地や学年の異なる子供達が興味を持つ内容に参加者によって対応できるバリエー

ションをもつこと

神奈川県環境科学センターで行なう夏休み自由研究相談などと重複しないこと

- ・その他: 講師は各教室4名とする。
材料費(上限あり)は主催者負担。
講師4名の謝金あり

2. 応募期限

平成19年2月10日(土)までにご連絡ください。
2月度の役員会(2月15日(木)開催)に諮って、神奈川県環境学習リーダー会でまとめて神奈川県環境科学センターに申請します。

3. 問合せ・連絡先

吉田: e-mail (ey-yoshida @ c3-net.ne.jp)
または FAX (045-844-9622)

- 3. 第2回実行委員会で選別し、“出し物”と“メインテーマ”を決める。
- 4. その内容に準じて、組織・体制を組む。

“出し物”例: 水道水、地下水、湧き水の飲み比べ、風呂敷の包み方

そこで、会員の皆さんから部会の枠にとらわれない体験型の“出し物”を募集します。

また、同時にメインテーマ名を募集します。
多数の提案、意見をお願いします。送付先は次の通りです。

提案期限 平成19年2月14日 必着
提案方法 郵送、Fax、電子メール、電話
提案先 当会代表 安丸 元一

〒253-0064 茅ヶ崎市柳島 2-11-64

Tel/Fax: 0467-86-3871

E-mail: genichi-1 @ nifty.com

または当会副代表 香川 興勝

〒253-0851 小田原市曾比 2312-5

Tel/Fax: 0465-36-9027

E-mail: yoshikatsu_kagawa @ ybb.ne.jp

“出し物”と“メインテーマ”募集

第6回親子で楽しむ環境展実行委員会
安丸 元一

第6回親子で楽しむ環境展は、装いも新たに実行委員会が1月11日にスタートしました。

従来と同じく温暖化防止活動推進の一貫として、県、横浜市、企業のご協力を得ながら、「かながわアジェンダ推進センター」と共催したいと思います。

当会の幅広い環境活動を、広く市民に知ってもらうため、開催日は温暖化防止月間の中央(6月16日(土))に、そして、会場は横浜そごう時計台前広場「新都市プラザ」と決まりました。

時期、場所は申し分ありませんが、狭いエリア(6m×18mで従来の1/2)ですので効率よく、活動をアピールしなければなりません。そこで一般会員も参加した第1回実行委員会で以下のように決まりました。

記

1. パネル中心から、体験コーナー中心に変える。
2. 部会の枠にとらわれず、多くの会員から“出し物”と“メインテーマ”を募集する。

実体験型学習の面白さを

地球温暖化防止活動推進員等専門実践研修

大気環境部会 猪股 満智子

11月23日(木・祭)・30日(木)の2日間、前年度に引き続き専門研修講師役を部会スタッフ5名が担当した。受講者の地域の偏りをなくするため会場を横浜から平塚市民活動センターに変更し定員枠も20名2日間出席可能者としぼって募集。結果、参加者は17名となった。

車の排ガスという身近な汚染被害ばかりに注目されがちだが、NO₂と同時にマイカーから排出される温暖化ガスCO₂に着目し、各種の測定体験から現象を目の当たりにして貰った。その後、最新の影響を共有して貰い、話し合い。受講者からは実体験に興味を持てたことと、テーマが大きすぎて時間不足、「5日間くらい欲しい」のお声もいただいた。

電気自動車を走らせよう！

平成 18 年度 地球温暖化防止のつどい

大気環境部会 猪股 満智子

12月17日(日) 横浜開港記念会館で第3回目のつどいが開催され、事例発表と運営役を5名で担当した。午前には県主催「かながわ地球環境賞表彰式」があり、松沢県知事より「産官学協働で2年以内に電気自動車を走らせよう普及計画。平成22年に全国植樹祭を開催し、50年計画で丹沢大山の再生4000万本植樹計画」の挨拶があった。

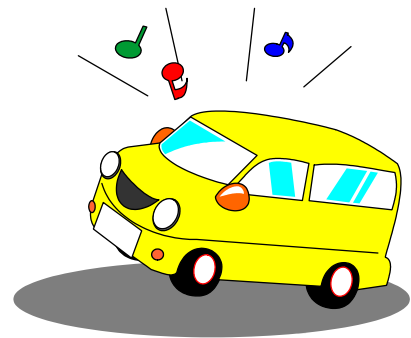
“そら”分科会では5団体の事例発表があり、まず東京電力神奈川支店は知事挨拶を受けて急速充電器の改良と電気自動車の開発、充電スタンド整備で運輸部門の省エネとCO₂削減の提案。次の温暖化防止アクションプラングループは運輸業、行政、市民へのアイドリングストップ運動・エコドライブ啓発活動を。昨年に引き続き環境市民会議「ちがさきエコワーク」、秦野

今年度は外部講師として専門家を講師陣の一員に加えるという条件が加わり、環境科学センターの相原敬次専門研究員にお願いできたという幸運にも恵まれた。長年の研究からの確固とした裏づけや丹沢総合調査からの新情報など、半信半疑の人も見受けられたのだが我々の必死の小手先よりも何ものにも代えがたい。感謝多々。

の自然と環境を守る会、当会大気部会からはその後の進捗状況の発表がされた。

アクションプラン(=来年度の目標)としてエコ、入手可能な価格、1回充電で80km限定走行と3拍子揃った電気自動車の開発・普及、マイカーから自転車・公共交通機関への転換、そら、みどりに関心を持とう(自然観察・モニタリング、光化学スモッグ情報)を採択。この3つが県環境保全推進会議実践行動部会での指標づくり、行動プランへと反映される。

現在、発表者と新メンバーを募り、行動に向けた作業が進められている。



部会活動

エネルギー部会

部会長 安藤 紘史

活動予定(‘07年1月~‘07年3月)

定例部会(於:かながわ県民センター)

2月13日(火)13:10~15:00 602号室

3月13日(火)13:10~15:00 602号室

4月1日(火)13:10~15:00 602号室

(先の連絡より開催時間が早まっています)

活動報告(18年12月~19年1月)

見学会

東京電力横浜火力発電所と麒麟麦酒見学

12月5日(火)13時~19時

研鑽と、各自の活動における活用方法を求めて、2社を見学した。

参加者10名。岩沢、上野、大森、高寺、児玉、中島、野村、二村、(長村)、安藤、

・通常見学コース以外に、東京電力においては環境部門の方との質疑の時間設定、麒麟麦酒においては工場長からの環境方針の説明等ご配慮をいただき、意義深い見学会となった。

・また、見学会終了後、麒麟麦酒横浜工場内のピヤホールで、新部会員の歓迎会も実施した。

1月度定例部会:

1月9日(火)14:00~15:30

場所:かながわ県民センター 702号室

参加者:岩沢、上野、大森、小田、鎌田、北村(博)、北村(陽)、児玉、中島、二村、横山、安藤、

来年度運営方針

方針を決定。ただし、リーダー会の NPO 化に伴う運営方針が明確になり次第修正してゆく。

親子で楽しむ環境展

対象者が従来と異なるので、一般多数の通行人に対してアピールできる内容を検討する。第一回運営委員会には二村さんが出席する。

情報交換

- ・企業向け省エネ啓発活動体験・・・上野さん
中小企業における省エネの狙い所や限界などの

体験紹介。

- ・飲料用自販機について・・・安藤
自販機の JIS 規格の問題点、防災上の問題点の紹介
- ・映画「不都合な真実」の有効活用法について情報と意見交換



ケナフ部会

ケナフ部会長 荒谷 輝正

ケナフ部会員が携さわった 2006 年 12 月～2007 年 1 月までの活動及び 2007 年 2 月～3 月迄の予定について報告します。

1. ケナフ部会定例会

12/9 平塚リサイクルプラザでの「くるりんまつり」でケナフ紙漉き」体験参加

柳川リーダーからの要請で平塚リサイクルプラザで「第 3 回くるりんまつり」にケナフ利用した紙漉



紙漉き風景



楽しく輪投げをしている。

きを開催。50 人以上の体験者があり大変盛況であった。柳川さんから提供されたケナフの茎をみて、これから紙が出来る事、地球温暖化防止活動を目的に活動している事をパネル展示を含めて PR する。また、古紙で作った輪投げで子ども達が多いに楽しんでいました。

12 月 19 日 ケナフ部会例会予定 圃場整理と来年の耕作準備

ケナフの刈り取りをして畑の整理。及び本年の茎を使って、紙漉きの実験。これで本年の畑作業は完了した。

2. 今後の予定

2 月 18 日開催の「第 13 回市民環境活動報告会」にポスターセッションにて年間活動を報告するべく、活動状況をまとめる。

2 月初旬 定例会次年度の活動方針の決定

3 月平塚リサイクルセンターで「古紙を利用した小物入れ作成」講座を開催

大気環境部会

部会長 猪股 満智子

活動予定

1 月 25 日(木) 13:30～16:30 NPO センター大船

1 月定例会；測定評価と次年度に向けて等

2 月 20 日(火) 13:30～ NPO センター大船

自然系マッピング(デジタルミリオン)講習会

自然系新モニタリングプロジェクト検討

3 月 1 日(木) 13:30～16:30 NPO センター大船

部会；19 年度活動方針等検討

活動報告

11 月 23 日(木・祭)、30 日(木) 13:00～17:00 平塚市民活動センター 主催；かながわアジェンダ推進センター

「県地球温暖化防止活動推進員等向けテーマ別専門

研修」講師役；猪股、安藤、立石

アシスタント；井上、担当理事；安丸

11 月 27 日(月) 13:00～15:30 KERC 学習室他

学習会「PM・SPM、アスベスト」小山恒人研究員

NO₂ 測定捕集管準備 参加；22 名

15:30～16:30 市民環境活動報告会資料検討

12 月 7 日(木)夕～8 日(金)夕 NO₂ 24 時間一斉測定
冬型の気圧配置「冬の大気の安定＝逆転層」現象のため、内陸部の濃度が高めの傾向となった。

12 月 11 日(月) 19～21 時 主催；独立行政法人・環境再生保全機構の委託事業「保全予防(環境教育)事業のアドバイザー会議」に参画；猪股

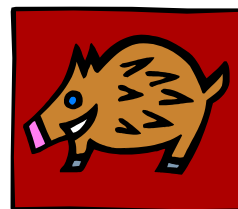
12 月 16 日(土) 13～15:30 NO₂ 分析 KERC にて参加；20 名

12 月 17 日(日) 9～17 時 横浜開港記念会館にて

「第3回地球温暖化防止の集い」主催；アジェンダ推進センターほか “そら” 分科会で事例発表と運営役；猪股、井上、草野、近藤、安丸担当理事

12月25日(月)18~20時 温暖化防止活動推進員で実践行動部会を形成し、「新アジェンダ中の“そら”の指標づくり」に参加；猪股、井上

1月16日(火)、23日(火)pm 上記事業“そら”の分科会と及び全体会に参加；猪股



水環境部会

部会長 齊藤 昭一

はじめにお知らせです。平成19年2月24日(土)15時から17時、環境科学センター、学習室にて水環境部会を開催します。石綿研究員も出席され、「川の連続性」についての貴重なお話もされますので、多くの皆さんの参加をお待ちしております。

今年より「川の連続性」についての新しい闘いが始まります。しかも平成23年までの5カ年に亘る長い期間、根気を要する活動となります。もちろん西丹沢水系の河川ですが、酒匂川、相模川を中心としたものになります。「エビ、カニ類」を中心とした採集観察調査となります。近年、河川の改修、整備、用水路等に対して、灌漑整備等のために設けられる「堰、堰堤、堤、堤防等」すなわち川の自然な姿を阻害する構築物による影響が自然界の中にどんな形で影響を与えているのか？・・・いままでも世間の学者達の間で多くの話題を提供してきた事柄であり

ます。今回、神奈川県では環境科学センターを中心に調査活動をはじめることになりました。私達、水環境部会、酒匂川探水隊もそのお手伝いを担うべく参加することとなりました。全部会員の参加のみならず、K・リーダー会の皆さんの参加もお待ちしています。

昨年、K・リーダー会、齋藤美代子さん主宰の「地球っ子ひろば」の「川の催し物」に参加したいへんに驚いたことがありました。ある地点に行きますと「うなぎ」が足の踏み場もないほどにいるのです。どこに網をかけてもかならず捕れるのです。そこにはヨシノボリもカジカもたくさんいました。また別の地点では5、60センチのボラがたくさん泳いでいました。ここにも「連続性」その川の上下する部分にさえぎるものがなく、自由に往来できるのであれば、こんなにも豊かな自然の魚達に会うことができるのだとの思いを受けたことがありました。今年もぜひ・・・との思い出いっぱいです。

廃棄物G O 3 部会

部会長 原園 信夫

廃棄物GO3部会は12月、1月度の活動はありませんでした。

2月17日、平塚市民活動センターで部会を開催し、来年度の分別カレンダーをどのようにするか

分別カレンダーから見えるものとして「プラ」の分別を検証する作業を行います。部会員以外でも興味をもたれる方は、参加をお待ちいたします。

また、リーダー会ホームページ上の廃棄物GO3部会の報告に、「神奈川県の廃棄物処理事情」掲載します。

グリーン部会

部会長 杉山 陽絵

<今後の活動予定>

- ・2月18日 市民活動報告会で部会活動を報告
- ・2月~3月 横浜にて消費生活推進員向けの研修を実施予定
- ・3月 ミーティング
(実施日は、お問い合わせ下さい)

<活動報告>

12/21 ミーティング

小学校での授業内容について、
市民環境活動報告会について

- 1/15 グリーン教育支援制度 平塚市立みずほ小学校授業実施
- 1/20 地球温暖化防止活動推進員・基礎研修にて「グリーン購入と温暖化防止」実施
- 1/26 グリーン教育支援制度 平塚市立金目小学校授業実施

11月23日、鎌倉市七里ガ浜自治会・子ども会と共催し、西友七里ガ浜店の協力を得て、「食べ物たんけん

隊！」を実施しました。26名の参加の下、グリーン部会オリジナルの紙芝居で環境のことを考えた買い物について学んだ後、西友七里が浜店の店長さんより、西友での環境への取組みについてお話いただきました。食の安全への取組み、廃棄物を減らすための取組みをはじめ、将来的にはエネルギーを全て再生可能エネルギーで賄うことを目指しているなど、興味深いお話をしていただきました。その後、店舗に移動し、実際に売られている商品を見ながら、食材の産地や包装容器、値段について参加者に調べてもらいました。「環境の



会員の広場

「初夢：K・リーダー会の将来像」

- 元代表・清水幸夫氏に聞く -

広報部

元代表である磯子区在住の清水幸夫様にK・リーダー会の“？年後”の姿について熱く語っていただきました。以下はその要約です。

(1) NPO 法人になっているだろう。NPO として事業を行っていくには、それなりのやり手が必要でしょう。

(2) 会員数は300人を超えるであろう。そのためには会員の増員に向けて、KERCのご支援を頂きながら、努力しなければならないでしょう。

(3) K・リーダー会専属事務所を持っているだろう。そのための費用試算をはじめ、事業活動の拡大を図る上でも、企画力が必要になるでしょう。

(4) 会報も会員以外の外部向けのもので出来るだろう。年に1~2回の外部向け広報誌を編集発行し、啓蒙活動を活発化させるようになって欲しいものです。

(5) 専門部会がさらに2,3増えるだろう。現在の部会のあり方をもう一度見直すべき時に来ているのではないのでしょうか。世代交代のための努力が必

取組みを進めている企業があることをはじめて知った」「食材が世界中から日本にきていることに改めて驚いた」などの感想が寄せられました。より良い社会を創っていくためには、行政をはじめ地域の企業とも協力・協働していくことが不可欠だと考えています。今回の経験を糧に、生産・販売に関わる方々とのつながりを深めていく活動も展開していきたく考えています。



要になっているし、現在の役員会のあり方も再考が必要でしょう。実行力のあるK・リーダー会となるためには任期をもっと長くする必要も出てくるでしょう。

(6) 知名度も上がり、得意な活動領域や活動拠点も出来るであろう。そのためには、やはり地域サポート部の機能を強化しなければならないし、多くの有用な人材を有効活用するべきです。地元で地道に活動している人も多くいるので、様々な活動分野に人材が存在していることを広く周知して、多くの交流や活動、指導が行われていくことを期待しています。

K・リーダー会は、会員が県下全域にいるという特色を持っています。これは他の活動団体にはない重要な部分であり、もっとこの長所を大切にしたい組織作りを行う必要があると思われます。豊富な人材をまだまだ有効に活用していないと思われ、地域での人材の掘り起こしや、地域を拠点とした特色ある活動のネットワーク化を図ること、そして多くの会員が県下全域で参加したり活動したりできるように、地域活動をサポートする努力を惜しまないで欲しいと思います。そのためにも、特に女性会員の活躍を期待しています。

年々会員が増えていくということは、K・リーダー会の先は明るいということですし、幅広い活動はもちろん、環境活動ならびに環境学習に対する指導

がたくさん出来るということでもあります。もはや K・リーダー会は親睦団体ではなく、本格的な事業化に向けた取り組みを会員の皆さん全員で協力し合

い積極的に推進して行くことが必要でしょう。そして、環境活動グループとしてユニークな存在を目指すべきです。(インタビュー：長村)

会員の広場

エコプロダクツ 2006 に参加して

原 園 信夫 (平塚市)

毎年 12 月になると国内最大級のエコプロダクツ展が開催されます(産業環境管理協会、日経主催)。今年も 12 月 14 日(木)~16 日(土)までの 3 日間東京ビッグサイトで開催されました。今年例年より 1 ブース増え東館 1~4 ブースで開催されました。総入場者数は 153 千人。14,15 日は小中高生が総合学習として参加、金曜日の午後はビジネスマン、土曜日は家族ずれやボーイスカウトなどが多く参加していました。

消費生活アドバイザーコンサルタント協会(NACS)は、今年初めて、グリーン購入ネットワーク(GPN)、産業環境管理協会(JEMAI)、エコマーク事務局と共同で、「グリーンコンシューマーが望む環境情報」コーナーを設置し、3 日間の来場者は 4,000 人を超えました。来場者からは、来年以降も是非このようなコーナーを継続してほしいという意見を頂きました。

今年の特徴は、エコカー試乗会があったこと、食の GPN コーナーを設けたことなどが上げられます。また、今年のテーマは【生活の「いき」、技術の「粋」】、「いきに暮らす」「いきに着る」「いきに食べる」「いきにすむ」「いきに買う」「いきに動き」「いきに働く」でした。行かれた方は企業のいきな暮らしへの提案に賛同された方も多かったかと思えます。

総合学習に今年 11 千人参加したと聞きました。神奈川県下でも毎年、横浜や横須賀・海老名など多くの学校からバスで参加しています(無料)。事前に環境学習をしたり、道中環境クイズをやったりして環境意識はずいぶん高いと聞いています。次年度は環境学習リーダー会もどこかの学校にかかわりたいものだと感じました。今年も 12 月 13 日~15 日の開催が決まっています。



会員の広場

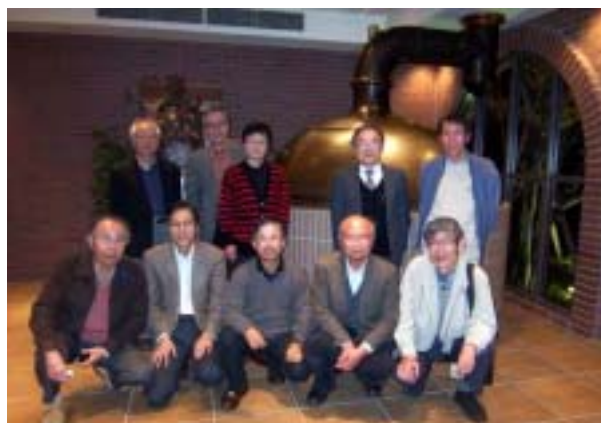
エネルギー部会施設見学会に参加して

野村 安子 (藤沢市)

昨年 12 月 5 日(火)、入会早々幸運にもエネルギー部会の施設見学会が開催され、鶴見の東京電力・横浜火力発電所とキリンピアビレッジの見学をする機会に恵まれました。

当日は霞がかった(春のような)晴天、最近富に顕著になってきた温暖化の兆候をまざまざと実感できるような暖かな日で、移動のため乗ったタクシーの中で『アカイエカ』が血を求めて飛び回っていたのには、多少の異常気象でも驚かない私もさすがにびっくりしました。

原子力発電や水力発電は以前見学したことがありましたが、火力発電の内部を見学するのは今回が初めてで、実際に見学した感想は、思った以上に設備がコンパクトで、特に IT 化の恩恵を受けたコントロールルー



ムのがらんとした様子には考え深いものがありました。また、従来型より原油当たりの発電効率を高めた改良型発電機は、電力業界や設備開発メーカーの努力の跡がうかがえ、今まで私が持っていた火力発電への“温暖化防止の敵”という感覚を若干和らげる効果もありました。

圧巻は、200m の高さの排気塔からの眺めでした。いつもより視界は悪いということでしたが、それでも東京タワーや遠い山並みを遮るものなく見渡すことができ、360 度にわたる高所からの眺望を満喫しました。

その後は、前述の蚊と同乗してタクシーで麒麟横浜ビアレッジに移動し、工場長自らの工場紹介の後、仕込 発酵 貯蔵 充填と順次ビールの製造工程を見学させていただきました。最後の締めくくりは待望のビールの試飲。できたてのビールのおいしさは格別でした。



会員の広場

14期新入会員のメッセージ

神奈川県環境学習リーダー会に新たに加わった方々から寄稿をいただきました。

自己紹介

熱海 宗信（相模原市）

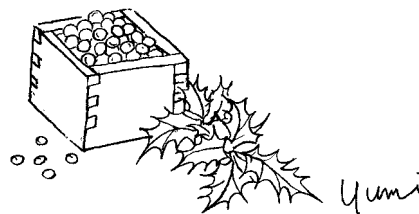
何かとMLで言いたい事を多数書いてきました熱海です。大変失礼を申し上げました。お詫びいたします。一昨年、環境への関わりが深くなり、県内・都内・都下を正しい情報を求めて動いて来ました。そして環境保存は詰まるところ、『温暖化防止』と『環境教育』であると自分の中で総括しています。

『温暖化防止』に関しては、マイ Agenda 宣言を年頭から try 項目を多岐に涉って追加設定して取り組み中です。

『環境教育』は、一般市民に対して「気付き」の

機会を広げるために、環境パンフ・チラシ（入手先-環境情報センター）を相模原市内（救命講習会受講者）で配布しています。

しばらく部会に加わらないで、今の活動方法で市民と対峙していきたいと考えています。広報部がされている会報の送付作業は手伝わせて頂く考えであります。



自己紹介

石切山 育子（横浜市）

現在、環境分析会社に勤めています。それに伴い去年、公害防止管理者(ダイオキシン類)を取得しました。ほかに環境保全に特に興味があるのでピオトップ管理士についても勉強していきたいと思っています。リーダー会ではケナフ部会、大気部会に入会

しました。今は温暖化の影響が一番深刻だと思われるので関連する活動があれば参加したいです。環境関連の施設めぐりが好きなのでおすすめスポットがあったら教えてください。ちなみによかったと思う場所は県立生命の星地球博物館です。今後ともよろしくお願いします。

自己紹介

上野 一郎（伊勢原市）

昭和15年、長野県の山村生まれです。37年間、神奈川県のパワー機器メーカーで、ビデオディスク、CD、DVD等の開発・事業化に従事、また、兼務で公害防止管理者、ISO14001環境マネジメントシステム(EMS)構築に従事しました。

定年後、中小企業のEMS構築支援、技術開発(光学関係)支援を行っています。EMS構築・運用は、危機的状況にある地球環境改善に有効と思い、6年前から10名程のメンバーと勉強会を続けていると同時に、中小企業に対して支援を行っています。環境学習リーダー会では、エネルギー部会に参加しました。

趣味は、ゴルフと旅行と仕事です。よろしくお願
致します。

自己紹介

野村 安子(藤沢市)

私は、現在、個人住宅への太陽光発電導入促進を
目的とした団体に所属しており、神奈川県内全域で
活動を展開しております。この活動を推進するため
には、やはり市民の環境意識の底上げが絶対的に必
要で、そのためには子ども達への環境教育やおとな

達への啓蒙活動がキーとなります。そのノウハウを
教えていただこうと入会させていただきました。し
かし、次々と送付されてくる活動案内の多さにいさ
さか怖気づいて、結局実践活動にはまだ参加して
おりません。最初からこの調子では今後は思いや
られますが、今後気を取り直して出席させていただ
こうと密かに考えております。どうぞよろしくお願
いたします。

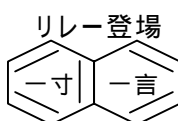
自己紹介

日下部 雅省(横浜市)

18年度の平塚の教育を終了し、今回リーダー会に
入会させていただいた日下部でございます。自然環
境部会に登録手続きを済ませました。微力ながら先
輩諸氏と共に楽しく活動し、それなりのアウトプ
ットが出せればと願っています。

現在まで、自然環境部会の会議、打ち合わせ等、
招集はありませんので、メンバーの方々の名前、活
動内容、今抱えているテーマ等理解しスタートす
るのは今後のことになると思います。

早いところ、リーダー会の、あるいは部会の活動
計画、その他を理解し、「会」に溶け込めるよう努力
したいと考えているところです。今後とも、ご指導
のほどよろしくお願いたします。



稲わらを考えてみる

安部 洋子(相模原市)

神社に初詣にいくと、立派なシメナワやシメ飾り
が見られ、稲わらは日本の行事には今でも欠かせ
ないものになっています。カットの写真は、今年の干
支の「いのしし」をわらで表現したわら細工です。
猪の硬い毛の感じやキバまで表されている名人の作
品です。

以前は秋になると、実った稲穂は鎌で刈り取られ、
田んぼで干され、脱穀して朶にされ、稲わらが残る。
それが物作りの素材として活用され、日常の必要な
物すべてがまかなわれていました。米俵、縄、わら
じや草履、敷物、畳床、雪国なら、わら靴やかぶり
もの、更に切って家畜の飼料に家畜の敷きわらにな
り、最後は有機肥料となって大地に還えされていま
した。

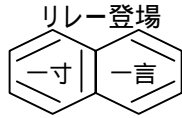
日本の原風景とも言える田園地帯で稲束が干され
ているのが見られなくなったのは、いつからだろう
か。現在はコンバインで必要な朶だけとられ、他の
部分は切り刻まれてしまう。あの稲わらはどこへ行

ってしまったのでしょうか。農林水産省が出してい
る「農業白書」によると、稲わらについては、「持続
性の高い農業生産方式の導入、堆肥などによる土作
りや、耕畜連携の強化による稲わらの流通、その収
集、供給を支援すると共に」というのがありま
した。市の農協の方に聞いてみると、稲作は小規模
なので、わらとして残り、畑の敷きわらとか、畜産
農家で使われたり、子どもの体験学習に供されてい
るということでした。この頃は、生産者は専ら米の
多収穫、消費者は「おいしいお米」の方にばかり目
がいったようですが、かつて、日本人が稲わらを
大切にし様々に利用してきた伝統的生活文化を、現
代の知恵を生かしてなんとか守っていくことは出来
ないかと考えております。

次は2期の稲田俊生さんをお願いします。



ソロプチミスト日本財団『環境貢献賞』受賞の報告



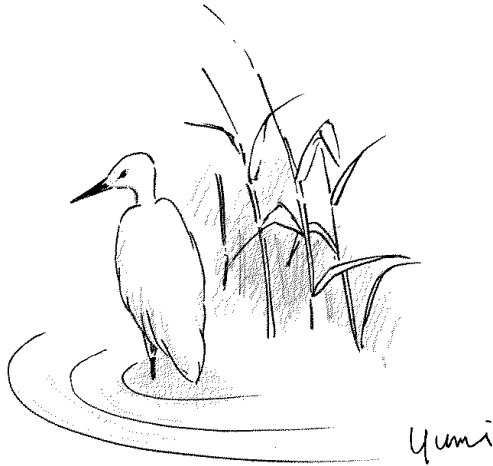
狩野 光子 (厚木市)

平成 18 年 11 月 28 日ソロプチミスト日本財団平成 18 年年次大会にて『環境貢献賞』を受賞いたしました。昨年 1 月、市内で「みんなの環境展 2006」を開催中に、ソロプチミスト厚木の会員の方が展示会を觀て感激され、推薦して頂きました。当日、福岡国際会場には全国から 3084 名もの会員の方の参加がされていてビックリしました。受賞に際し一番嬉しかったことは、国際ソロプチミストのような歴史のある財団が、環境問題に取り組みおられたこと、そして地球環境問題に関する認識が同じであったということです。

掲示板

広報部からのお知らせ

今回の会報 55 号は通常の奇数月末頃の発行ではなく総会の資料準備とその同封のために 4 月中旬の発行となります。作業の手伝いをしていただける方は広報部までご連絡ください。



編集後記

2007 年 1 月 23 日東京都が主催する「太陽熱の利用拡大に向けて」(新エネルギー・フォーラム in 東京)に参加した。ソーラーハウスといえば、屋根に太陽電池が載っている家をイメージするが、むしろ太陽熱を利用した建物という意味もあることをあらためて認識した。自然エネルギーの有効利用として、ヨーロッパでは太陽熱の利用が

授賞式で国家斉唱のあと、ソロプチミスト日本財団・山下淑子理事長が『貢献の精神』をご挨拶でされた時、「ああ、日本にもこんなにたくさんのクイーン・マザーがおられるのだ」と感激でした。

また、環境貢献賞受賞者 10 名を代表して謝辞を申し受け「私たちは、富の蓄積を求め続けて滅びるよりも、慎ましくても心穏やかに精神的な豊かさを求め続ける社会を、子ども達へ残してあげたいと願っています」と述べさせて頂きました。登山家の田部井純子さんなどと一緒に受賞は、生涯の素敵な思い出になりそうです。これも長いこと、色々ご指導して頂きました環境科学センター職員の皆様や、リーダー会の皆様のお力添えも大きかったと感謝申しあげます。

次は厚木市内、同期で 7 期の歯科医 内田善久さんをお願いいたします。

非常に進んでいるのに、日本ではまったくに等しい感がある。オイルショックにより 1970 年代に広まった太陽温水器は、その後、原油価格の高騰が続かず、影を潜めてしまった。太陽熱の利用効率は、太陽電池に比べて 5 倍もあるにもかかわらず、普及がなされなかった理由に、当時屋根に載せる温水器はデザイン上も好まれず、メンテナンスが充分でなかったこともあるようだ。たしかに子供の頃、田舎の家の屋根に載せてあったお風呂用の太陽温水器は、中に藻がたくさん生えて大変だった記憶がある。太平洋側では太陽に恵まれている日本であるから、CO₂ 排出削減のために、もっと太陽熱を利用すべきであると思う。冷暖房と給湯に太陽熱利用システムを組み込んだ建物もソーラー建築の分野で開発が進んでおり、ソーラータウンがすでに建設されていることも知らされた。「グリーン電力」+「グリーン熱」を利用した家々が一日も早く広まっていくことを期待したい。

広報部 長村 吉洋

発行人：神奈川県環境学習リーダー会

代表 安丸 元一

編集人：広報部長 鎌田 裕二

TEL/FAX 046-272-7021

発行日：2007 年 2 月 3 日

ホームページ：

http://members.at.infoseek.co.jp/k_leader/